

地域の魅力発信セミナー(第16回駐日外交団の地方視察ツアー)

平成 27年12月
地方連携推進室

平成27年10月29日、外務省と神奈川県との共催により、駐日外交団から18か国計25名が参加して神奈川県への視察ツアーが行われました。一行は、神奈川県の投資環境等の魅力について理解を深めるため、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区のジョンソン・エンド・ジョンソン(株)東京サイエンスセンター及び公益財団法人実験動物中央研究所や、さがみロボット産業特区の湘南ロボケアセンター株式会社を視察しました。

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)東京サイエンスセンターは、同社の最先端医療機器を医師が研修する施設であり、外交団は、施設について説明を受けた後、MRI撮影室、カテーテル導入人体模型、手術室等を見学しました。また、神奈川県職員よりヘルスケア・ニューフロンティア(HNF)施策等について説明があり、外交団からは、「大変分かりやすく興味深かった」との感想が寄せられました。

公益財団法人実験動物中央研究所では、創薬の臨床研究の前段階である動物実験(前臨床試験)でその有効性・安全性が的確に証明できる実験動物を開発しています。外交団は、同研究所について説明を受けた後、マウス飼育室、マーモセット飼育室等を見学しました。

湘南ロボケアセンター株式会社は、装着型ロボット「ロボットスーツ HAL」を使用したトレーニング施設であり、外交団は、実際にHALを使ったトレーニングを見学・体験しました。HALへの関心は非常に高く、予定時間を大幅超過した視察となりました。外交団からは、「ロボットが身体の不自由な人を支援する場面を見て非常に驚いた」、「日本の発想は非常にユニークで面白い」などの声が聞かれました。

最後の視察先である江の島に到着した頃には既に日が落ちていたため短時間の滞在となりましたが、外交団は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるセーリング競技の会場となる江ノ島の雰囲気を楽しみました。

また、共催自治体からは「このツアーを通じて、参加各国とのビジネス交流のきっかけが生まれることを多いに期待している」との声が聞かれました。



東京サイエンスセンターにて



実験動物中央研究所にて



湘南ロボケアセンターにて

【プログラム】

- ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)東京サイエンスセンター
- 公益財団法人実験動物中央研究所
- 歓迎昼食会(ホテルモントレ横浜)
- 湘南ロボケアセンター(株)
- 江の島